

防+災

被災地の今

①

〜岩手県
陸前高田市〜

秋風が寒さを感じさせる11月、全国青年市長会が開設した「岩手県陸前高田市復興支援センター」へ本市の市民防災室の職員2名が派遣されました。実際に職員が目にした被災地の状況を今月号から3回に分けて掲載します。

陸前高田市の沿岸地域は、広大な平地で市役所、消防署等の行政施設、大型商業施設など中心的な街が形成されておりましたが、東日本大震災の津波によりほぼ壊滅状態となりました。震災から1年8か月余り経過して、残された被災施設の撤去が始まり、これから新たな街づくりを目指していく状況ですが、沿岸地の高上げ等課題が山積しており、遅々と進んでいない様子でした。テレビ等のメディアで被災地の報道を見てきましたが、実際に目の当たりにすると予想以上の被害の大きさに愕然と

防災とボランティアの日

毎年、1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日〜1月21日は「防災とボランティア週間」です。この日・週間は、平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」を踏まえ、閣議了解（平成7年12月15日）により設けられました。阪神・淡路大震災では、全国各地から数多くの方々が被災地に駆けつけ、延べ約130万人



▶4階まで津波に遭った公営住宅



▶現在の陸前高田市役所

しました。現在は、高台に市役所やコンビニ、商店街などが仮設のプレハブで営業しており、日々の暮らしを取り戻している状況でした。
(市民防災室)

以上がボランティア活動に参加。被災者の救援や被災地の回復に大きな力を発揮し、災害時におけるボランティアの重要性が確認されました。これをきっかけに、全国各地でさまざまなボランティア活動が展開してきており、各地で災害が発生すると、ボランティアがいち早く被災地に駆けつけ、さまざまな支援活動を行うという文化が定着しつつあります。この機会に、家族や地域のみならずと防災やボランティアについて考えてみましょう。

問合せ：市民防災室 ☎893-4411（内線319）

ユンタクセンター
自治会めぐり 21
大謝名団地自治会
☎897-3010

会長の泉川智枝子と書記の大城周子です。大謝名団地地域は、以前は田んぼや田いも畑だったようで、地盤沈下や液状化現象に備え、自主防災組織を立ち上げて年二回の訓練を行っています。また、楽しく和やかな雰囲気での自治会です。一度のぞいてみませんか。

サークル・その他の活動紹介

- ☆宮古舞踊サークル（月・土）
- ☆三味線サークル（水）
- ☆大正琴サークル（木）
- ☆習字教室（金・土）
- ☆子育てサロン「ひよっこ」（毎月第2金曜日）
- ☆自主防災・地域支え合い活動推進委員会（毎月第2火曜日）
- ☆ミニデイサービス（水）
- ☆OP会体操（金）
- ☆手話サークル（金）
- ☆定例清掃（毎月第3日曜日）
- ☆地域パトロール（月2回）
- ☆防災訓練（年2回）

主な行事

4月	定期総会
6月	各棟親睦グラウンドゴルフ大会
7月	区内大清掃
8月	子ども会夏休みラジオ体操
9月	旧盆子どもエイサー道ジユネー 敬老会
10月	団地まつり・区民スポーツ大会
11月	年末区内大清掃
12月	小地域ふれあい事業
1月	新春ボウリング大会

子ども宿泊会



区民スポーツ大会

